

令和 7 年度 学校自己評価報告書

1 信頼と誇りのもてる学校づくり

考察等 ◎保護者や地域の意見を計画的に収集・分析し、改善に努めている。全教職員が、授業を始め生徒にかかわる諸活動を大切にしている。情報発信のさらなる充実を含め、次年度も信頼される学校づくりに高い水準で取り組む。

2 主体的に学習に取り組む態度の育成

(1) 学習指導

考察等 ◎話し合い活動を重視し、生徒が相互に自分の考えを伝えあう場面を各教科で取り入れることにより、学びを深める機会を多く設けた。

◎授業改善を主とした校内研究を計画的に実施し、教員相互の授業観察、意見交換を行うことによって授業の充実を図ることができた。

改善策 ◎継続して「せたがや探究的な学び」を軸とした授業改善に努め、生徒が自ら学ぶ意欲を高めるために指導・支援を行う。

(2) 特別活動・学校行事

考察等 ◎本校の伝統ともいえる学校行事への取り組み意欲、向上心の高さは本年度も確認することができた。生徒自らが考え、行動する場面を設定していることが生徒の達成感や充実感につながったといえる。

改善策 ◎校訓でもある「自治・協同・創造」の力を身に付けるため、行事をはじめ普段の学級活動においても生徒が自ら考え行動する場面を多く取り入れる。

(3) キャリア教育・進路指導

考察等 ◎キャリア・パスポートの活用の一環として、教育相談（三者面談）での生徒による1分間スピーチを行った。生徒が自らの目標と達成状況を振り返るよい機会となった。

改善策 ◎1分間スピーチを継続して行い、生徒の自己理解を促すとともに、学校・保護者が共通理解の基に、協力して生徒の活動を支えられるようにする。

(4) 学び舎活動

考察等 ◎年3回の合同協議会を行うとともに、あいさつ運動や小学校運動会のボランティア活動など、連携した活動を進めることができた。

(5) 特別支援教育

考察等 ◎校内特別支援委員会を定例化し、情報共有を推進することができた。別室登校の体制づくりも軌道に乗り、多様な生徒の意欲を支え、学習機会を保証することができた。

◎個々の生徒の特性を把握するとともに、校内での情報共有を図り、一人ひとりに寄り添った教育活動を進めることができた。

改善策 ◎別室登校の体制の安定化、より組織的で実践的な対応、取組を進める。

3 地域との連携・協働による教育

考察等 ◎避難所運営訓練や学び舎合同学校協議会等、地域と協力、協働した活動を行うことができた。

◎学校だよりやホームページ等を通じて学校活動の周知を図り、保護者・地域との連携を強化することができた。地域運営学校としての活動について、その位置付けや果たしている役割についての周知が不十分な点があった。

改善策 ◎学校運営協議会を新規に発足させ、地域と連携した活動の在り方を再検討し、整理、活性化させる。

4 安全・安心と学びを充実する教育環境の整備

考察等 ◎日常の安全点検、施設管理を適切に行い、生徒にとって、安心かつ安全で充実した教育環境、学習環境の整備に努める。